

犯罪 電柱から見逃さぬ



電柱に設置された
防犯カメラ



福井・松本地区 防犯カメラ北陸初設置

児童を犯罪や不審者から守ることを目的に、福井市松本地区自治会連合会は21日までに、地区内の通学路にある北陸電力の電柱3本に防犯カメラを取り付けた。24日から運用する。北陸電が、保有する電柱を防犯カメラの設置場所として2月に提供を始めて以降、設置されるのは北陸3県で初めて。

松本地区は3月、同連合会長や松本小校長、PTA会長、見守り隊長らが通学路を視察。児童の歩く方向や住宅や街灯の少なさなどを考慮し、住民の生活が映らないようプライバシー保護に注意しながら

24日から通学路で運用

ら、電柱やカメラの角度を検討した。北陸電への申請、審査を経て、町屋2・3丁目の交差点と文京1丁目の県道(通称フェニックス通り)沿いに取り付けた。

北陸電によると電柱は県内に14万本あり、これまでも電話線や街灯、信号、標識などに使われているが、防犯カメラ設置のニーズが高まっていることから利用条件などを整理した。

カメラ設置は防犯目的に限られ、利用できるのは国や地方自治体、警察、消防などで、自治会や町内会は公共性などが認められれば可能。利用料は1

北陸電力の電柱の高さ約5.5mの位置で、交差点を映すように設置された防犯カメラは20日、福井市町屋2丁目

台につき年額税込み972円。運用に当たり松本地区は、

プライバシー侵害にならないようデータ管理に関する規約を設けた。規約では、画像の所有権を自治会連合会とした上で▽捜査機関からの要請や、人命などに緊急の必要性がある場合以外はデータを第三者に提供しない▽画像の閲覧は提供依頼時と保守点検時のみ▽運営管理責任者は自治会連

合会長、副責任者は松本公民館長とともに守秘義務を負つることなどを盛り込んだ。速田公一同連合会長(74)は「児童がより安心、安全に登下校できるようになれば」と話す。

北陸電によると、県内では2月以降、自治会から5件ほど相談があった。設置できる高さは、付近の配線や道路状況などによる。

富山市は本年度、街頭防犯カメラを130台設置する。現在、設置場所を検討しており、北陸電の電柱も視野に入れている。(嶋本祥之)